

EuroBIC-16 への参加報告

理学研究科 理学専攻
博士後期課程 1年 稲葉大晃

出張先：Grenoble, France

出張期間：7/15-7/24

出張目的：EuroBIC-16 でのポスター発表、ダブルメンターとの研究打ち合わせ

概要

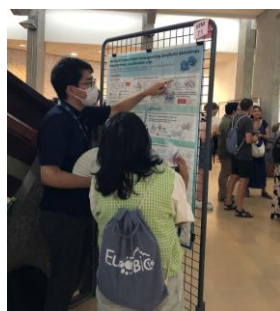
グルノーブルアルプ大学で開催された EuroBIC-16 に参加し、「Artificial hemoproteins incorporating porphyrin derivatives bearing metal coordination sites」という演題でポスター発表を行った。本学会はヨーロッパにおける生物無機化学についての国際学会であるが、参加者はヨーロッパに限らず、世界各国の生物無機化学者が集まり、研究発表と議論行っていた。自身のポスター発表では、海外の研究者と議論を行うことで、今後の研究活動について大きな刺激を受けた。また、融合研究を計画しているダブルメンターの Gerard Roelfes 教授とディスカッションを行い、研究の方針や留学について話し合った。

所感

私にとって EuroBIC-16 が初めての現地参加の学会であったため、会場の規模や様々な国籍の研究者が集まって議論する様子に驚いた。参加者の多くはヨーロッパ各国からの参加者で、各母国語の影響を受けた訛りのある英語を体験することができ、理解が難しい場面もあったが、良い刺激を受けた。

また、学会中に開催された PI とポスドク・学生の交流会に参加することができた。ここでは、研究内容についての議論だけでなく、各国の研究事情やカリキュラムについて話をすることができ、研究活動全般における視野が広がるような有意義な時間を過ごすことができた。

トランスフォーマティブ化学生命融合研究大学院プログラムから支援していただくことで、本学会に参加することができ、貴重な経験を得ることができた。



左：ポスター発表、右：ダブルメンターとの議論